



興 照 寺 報

令和2年7月

72号

発行 浄土真宗 興 照 寺
〒890-0045 鹿児島市武一丁目25番12号
電話 **099-254-3269** (代)FAX 099-254-0303

※寺務所は写真左奥会館2階です。



(令和2年6月23日現在の興照寺)

本堂改築工事、順調に進んでいます。
鉄骨が組み終わり、屋根工事が始まり
ました。7月中旬、上棟式の予定です。
※今回の寺報からA4版に変更しました。

⇒ 鉄骨工事

(東側よりパノラマ撮影)



～当寺本堂改築ご寄付に対する御礼～

昨年9月より、多くの門徒の方々から浄財をご寄付頂きましたこと、心から御礼申し上げます。
ご寄付の申し込みについては引き続き受け付けております。ご協力よろしく願いいたします。

令和2年	工程表(予定)
6月末～	屋根工事
6～10月	興照寺会館(7階建物)外壁工事
7月中旬	上棟式
8月～	新築外装、内部工事
12月末	完成検査、引き渡し

【来寺の際のお願い】
 本堂改築工事期間中は、
駐車場利用が制限されます。
 法事や納骨堂のお参りなど
 車で来寺される際に、当寺駐
 車場の空きがなく、近くのコ
 インパーキングに停めて頂く
 場合がございます。尚、他に
 来寺される方や一般行人の
 ご迷惑になりますので会館入
 口前の駐車は、遠慮ください。
 ご不便、ご迷惑をお掛け致
 しますが、ご理解ご協力のほ
 どよろしくお願ひ申し上げます。

コロナ禍の中で

新型コロナウイルスの影響で、私たちの生活様式が大きく変わってしまいました。人生、いつ何が起ころうとも不思議ではないことはわかっていますが、自粛生活を余儀なくされた戸惑いの日々の中、不自由さを感じずにはおられません。

今回のコロナウイルスの大流行は、世界中に大きな打撃を与えました。と同時に私たちのこれまでの生活の在り方に大きな一石を投じました。

私たちは、生きていく中でたくさんの方々のご縁に出遭います。そのご縁が積み重なって今の私があります。与えられたご縁をどう活かしていくか。今回のコロナ禍も、私たちを取り巻く生活環境や自然環境、そして人生について真剣に考える機会なのかもしれません。

人生は「無常」です。常（一定）では無く、時と共に変化し、いつか必ず終わりが来る。はかなくて頼りないもの、それが私たちの人生です。どんなことが起ころうともしっかり受け止めていける智慧を持ち、人生を心豊かに生きていくために、お念仏の意味を改めて大切に味わっていききたいものです。

(英憲記)

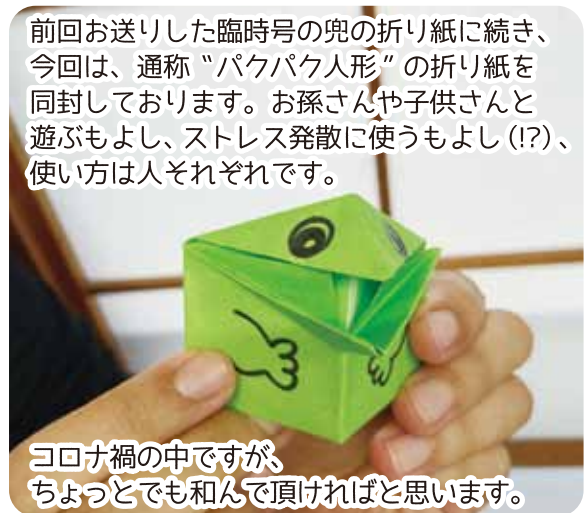
「新型コロナウイルス」感染防止に向けた興照寺ガイドライン(指針)

ガイドライン(指針)は当寺において、新型コロナウイルス感染症の感染防止、感染者の対応、感染者が発生した場合の対応について示したものです。中でも下記は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、お寺にご参拝に来られるみなさまへ下記の通り対応致しますのでご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

- ご法事、納骨堂ご参拝の際はマスク着用、咳エチケットや手洗い・うがいの励行等十分な予防対策を施してご参拝くださいますようお願いいたします。
- 風邪の症状がある方は参拝をご遠慮ください。
- 法要室や納骨堂は換気を行い(荒天時除く)、特に法要室は参拝者同士の距離を保つため、席を離して椅子を設置しております。



※法要室(3階)・・・座席の間隔を空け、換気を行っています

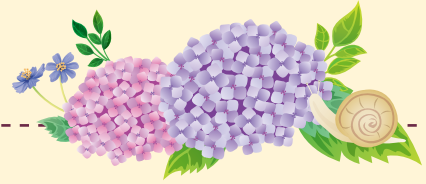


前回お送りした臨時号の兜の折り紙に続き、今回は、通称「パクパク人形」の折り紙を同封しております。お孫さんや子供さんと遊ぶもよし、ストレス発散に使うもよし(!?)、使い方は人それぞれです。

コロナ禍の中ですが、ちよつとでも和んで頂ければと思います。

教えてお寺のこと！

実際に門徒の皆様やお参りいただいた方々から頂いた素朴な質問にお答えしていくコーナーです。



問 お布施はいくら包めばいいですか？

答 結論から申し上げますと、お気持ちで結構です。

そう言われても分からないから聞いているんです！という方が実際多いと思います。

誤解されている方が多いのですが、布施というのは僧侶が読経したことに対する代価、御礼ではないので、料金制ではありません。

本来、布施とは、僧侶が読経したり、法話をしたりすることで法（教え）を施す「法施^{ほうせ}」、法を説いてもらった方にお金などの財物を施す「財施^{ざいせ}」、相手をいたわり畏怖の念を抱かせない「無畏^{むい}施^せ」などいくつかあります。

浄土真宗では、こうした布施を自己の善根功德とはせず、『ご本尊の阿弥陀如来様への感謝の気持ち』として捉えています。仏法を喜ぶ気持ちから、阿弥陀如来さまへ自らが捧げるものとなるのです。

さらに私たちはそれぞれ経済状況が異なります。それぞれの布施は、それぞれが出来る範囲で『阿弥陀如来様への感謝の気持ち』をお示しいただければ、大丈夫です。

とは言っても、多くの方からこの質問は頂くので、ご質問あれば平均的な金額（あくまで目安）をお答えする事は出来ます。分からなければ、遠慮なくお問い合わせください。

秋季彼岸法要のご案内

日 時	午前10時～11時15分頃	午後2時～3時15分頃
9月19日（土）	○	○
9月20日（日）	○	龍泉寺（吹上）
9月21日（月）	龍泉寺（吹上）	
9月22日（火）お中日	○	○

講師：原中 秀峯先生（福岡県） 場所：興照寺会館3階法要室（エレベータあり）

秋季永代経法要のご案内

日 時	午前10時～11時15分頃	午後2時～3時15分頃
10月24日（土）	○	○
10月25日（日）	○	○

講師：中村 龍信先生（山口県） 場所：興照寺会館3階法要室（エレベータあり）

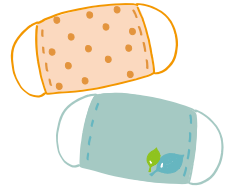
9月以降の催事につきまして上記予定ではありますが、その時の新型コロナウイルスの感染状況に応じて開催可否を判断させていただきます。

令和2年お盆参りについてのお願い ※例年と異なります!

今年度は本堂改築工事期間中で法要室、駐車場とも収容人数、駐車可能台数に限りがある上、新型コロナウイルス感染症対策も考慮し、例年と異なり、ご不便ご迷惑をお掛けいたします。

お寺にお越しの際のお願い

- 一度に来られる1家族の参拝人数に関して、基本的に合同法要となりますので初盆法要の方は**5名**まで、一般法要の方は**2名**までとさせていただきます。納骨堂参拝の方も一度に大人数ではなく、ご家族内で参拝日時を分けるなど極力少人数でお越し頂けますと有り難いです。
密閉、密集、密接を避けるため、収容人数に限りがございます。
- 出来る限り公共交通機関をご利用ください。
駐車場に限りがあり、例年以上に混雑が予想されます。お車で来られる際は乗り合わせでお越しください。当寺駐車場が満車の場合は、近隣のコインパーキングをご利用ください。
- 各自マスク着用**など新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、お越しください。



お盆参りに関する希望を出されていない方

今年度門徒会費のお支払い時（3月に送付した払込票内規）に「お盆に関する希望」をお聞きしておりますが、希望をまだ出されていない方でお盆期間中にお寺にお参りに来られる予定の方は事前にご連絡ください。今年度は上記理由のため、**時間帯によっては、せっかくお越し頂いても収容人数の関係で、お入り頂けない場合もございます。**

既に、盆参りのご希望を出されている方は、今回の寺報に同封しております別紙「盆法要のお知らせ」をご確認ください。

今年度は、法要室収容人数や駐車台数など、例年に比べ制限が掛かり、大変申し訳ございません。
ご不便、ご迷惑をお掛け致しますが、皆さまのご理解ご協力の程宜しくお願いいたします。

門徒会費、納骨堂管理費のお願い

令和2年度の門徒会費（2,000円）および納骨堂管理費（10,000円）が未納の方がおられます。ご確認の上、納入をお願いいたします。

《納入方法》 下記のいずれかの方法で納入をお願いいたします。

- ・3月発送寺報（71号）同封の払込票を使い、お近くの郵便局からお振込みください。
- ・直接、寺へご持参、お支払いでも対応致します。



梅雨のさなか、今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、余計に気が晴れない日々が続いています。体調に十分ご留意の上、お過ごしください。
みなんで力を合わせて少しでも早く日常の風景が戻ってくることを願ってやみません。（英憲記）

- 興照寺 寺務所（興照寺会館2階） 受付時間
午前8時30分～午後5時30分
- 興照寺 納骨堂 参詣時間
午前8時～午後6時
（8/13日～15日は午前7時～午後9時）
- 寺院内も昨年より新しい職員（事務員、清掃員）が仲間入りしました。今後も法務員（僧侶）募集を行うなど将来的な護持に向けて内部組織も変化していきます。時代に即した“開かれた”お寺を目指して様々な事に取り組んでまいります。